

第8回 JMLA 学術集会

The 8th Academic Meeting of the Japan Medical Library Association

プログラム・抄録

2024年12月13日（金）

Zoom ウェビナーによるオンライン開催

特定非営利活動法人日本医学図書館協会主催

目次

第8回 JMLA 学術集会 受講にあたって	3
プログラム	7
【研究発表①～④】	8
【CE コース】	
システマティックレビューに取り組むための基礎知識	13
文献検索演習中級 2024 医中誌 Web	21
文献検索演習中級 2024 PubMed	30

第 8 回 JMLA 学術集会 受講にあたって

【開催日時】

2024 年 12 月 13 日（金） 9：20～16：40（昼休憩 12：00～1 時間を予定）

- ・ 午前の部 研究発表 9：20～（入場開始 9：00～）
- ・ 午後の部 CE コース 13：00～（入場開始 12：40～）

【プログラム】

JMLA ホームページまたは学術集会参加者ページに掲載の「プログラム」をご参照ください。

https://jmla1927.org/doc/event/gakujutu/8th/8gakujutu_pro.pdf

【配布資料】

配布資料は、メールにてお知らせしました学術集会参加者ページに掲載しています。同メールに記載された ID・パスワードでログインし、事前にダウンロードしてご準備ください。また、文献検索演習中級 2024 には事前課題もございますので、課題を済ませた上でご参加ください。

【受講方法と事前準備】

学術集会は Zoom ウェビナーシステムを用いて行います。

下記の手順に沿って、参加のご準備をお願いします。

① Zoom ウェビナーへの参加登録をする

事前案内メールに記載されている URL より、必要事項を入力の上、Zoom ウェビナーへの参加登録をおこなってください。登録が完了すると、学術集会当日の参加用 URL が記載されたメールが自動返信にて送付されます。自動返信が届かない場合は、中央事務局までご連絡ください。

※ 参加用 URL は即時発行されますが、余裕をもって早めにご登録ください。

※ 研究発表と CE コース両方に参加する方は、それぞれウェビナー登録してください。

※ JMLA ホームページ上の学術集会参加者ページとは異なります。

※ 参加登録画面にて、研究発表の参加証明書、CE コース修了証書の発行希望を伺います。発行をご希望の方は必ず【必要】とご回答ください。

② 視聴用 PC やタブレットを準備する

Zoom ウェビナーを視聴するにあたって、パソコンやタブレットが必要です。ご自身の環境に

あった端末をご用意ください。

③ Zoom をインストール

下記 URL より、事前に Zoom のインストールをお願いします。

https://zoom.us/download#client_4meeting

※ すでにインストール済みの方はバージョンを確認いただき、必ず最新版へのアップデートをお願いいたします。バージョンによっては視聴ができなかったり、搭載機能が使えない場合があります。

④ 案内に従って URL または ID・パスワードで入室

開催当日は、Zoom ウェビナーに URL もしくは ID・パスワードで入室してください。

※ Zoom の各種機能については、Zoom ホームページの他、別添の Zoom 簡易解説をご参照ください。

※ 入室までに時間を要する場合があります。午前の部、午後の部ともに 20 分前より入室が可能ですので、時間に余裕をもってご準備ください。

【受講にあたっての諸注意】

- ・ ビデオ・マイク機能について
Zoom ウェビナーシステムを用いての開催になるため、受講者のマイクとビデオ（カメラ）機能はご利用いただけません。
- ・ チャット機能について
進行や研究発表者・講師の音声や映像にトラブルがあった場合には、チャット機能より、送信先を「ホストとパネリスト」に設定して学術集会運営本部へご連絡ください。
一度退出いたしますと、再入室以降のチャット内容しかご覧いただけませんので、お気をつけください。
- ・ 研究発表の質疑応答について
質問の投稿は、次の発表が始まるまでにインターバルを設けますので、Zoom の Q&A 機能から 頭に研究発表番号を付けて送信してください。
質問への回答時間は、全研究発表の終了後に設けております。学術集会運営本部が取りまとめて研究発表者に代理で質問いたします。時間の都合上、すべての質問には答えられない場合がありますので、ご了承ください。
- ・ CE コースの質疑応答について
Zoom の Q&A 機能から随時質問をお寄せください。いただいた質問は講師が選定し、各講義終了後に直接回答いたします。

- ・ Zoom ウェビナーの不具合について
受講者側による Zoom の接続や音声等の不具合は、学術集会運営本部では対応できかねます。Zoom のホームページ等をご確認いただき、対応をお願い致します。
また、通信回線の不具合などにより途中退出・再入室を行った場合は、おおよその時刻を記録いただき、受講確認アンケートに設けられております回答欄より報告をお願いいたします。（各プログラム中の休憩時間中の一時退出・再入室についてはご報告不要です。）

【文献検索演習について】

文献検索演習中級 2024 に参加される方は、JMLA コア研修の「医中誌 Web/PubMed 検索初級」の内容と演習問題を復習いただくとともに「JMLA E-ラーニング文献検索講座」を必ず視聴し、内容をよく理解しておいてください（中級編では原則として基本的事項は説明しません）。

また、文献検索演習中級 2024 では事前課題があります。参加者ページに掲載されています。講義内で解説を行いますので事前に各自で取り組み、当日は手元に用意しておいてください。

当日は、医中誌 Web と PubMed を利用して演習を行う時間があります。

演習時は Zoom の画面は開いたまま、ブラウザを立ち上げ、データベースに接続してください。

- ・ 医中誌 Web : <https://login.jamas.or.jp/>
- ・ PubMed : <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/>

【医中誌 Web について】

医中誌 Web は有料データベースです。

未契約の方は、参加者ページに記載の専用 ID とパスワードをご利用ください。

事前にログイン確認を行い、学術集会当日のほか、事前課題の際にもご利用ください。

注意事項

- ・ 文献検索演習目的以外の利用はできません。
(所属機関の業務には利用しないでください)
- ・ 所属機関の医中誌 Web 導入有無に関わらず、ご利用いただけます。

【受講確認アンケートについて】

学術集会当日の Zoom ウェビナーが終了すると、自動的にアンケートページがブラウザに表示されます。

こちらのアンケートは受講確認も兼ねておりますので、必ず当日中にご回答ください。

研究発表、CE コースそれぞれの開催時間内に表示される「受講確認キーワード」の正答も、受講認定の必須条件となります。回答がない場合、研究発表の参加証明書、CE コース修了証書は発行できませんのでご注意ください。

回線不具合等によりアンケートページが表示されなかった場合は、学術集会運営本部までメールにてご連絡ください。

第8回 JMLA 学術集会 プログラム

2024年12月13日(金)

オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

- 9:00 - 9:20 参加者オンライン入室開始
- 9:20 - 9:30 開会挨拶・オリエンテーション
- 9:30 - 11:00 【研究発表】各 20 分 (15 分+質問記入タイム), 途中休憩 15 分あり
- ① 大学医学系図書館における文系資料を用いたレファレンスについて：
戦前期「外地」留学生資料調査を一例として
油谷順子（東京女子医科大学図書館大学史料室）
 - ② 東京慈恵会医科大学学術情報センター史料室におけるレファレンス
業務
大崎泉（東京慈恵会医科大学学術情報センター）
(途中休憩・時間調整 15 分)
 - ③ コロナ禍における一地方医科大学・大学病院での臨床支援ツール・電子
ジャーナル利用の分析
鈴木俊也（獨協医科大学図書館）
 - ④ 埼玉医科大学における転換契約導入経緯と運用状況：シュプリング
ネイチャー、ワイリーの事例報告
田口宣行（埼玉医科大学附属図書館）
- 11:00 - 11:40 質疑応答①～④ 40 分
- 11:40 - 12:00 参加証明書配布についてのガイダンス(アンケート入力含む)
- (休憩 60 分)
- 12:40 - 参加者オンライン入室開始
- 13:00 - 13:05 オリエンテーション
- 13:05 - 14:05 【CE コース】システムティックレビューに取り組むための基礎知識：
これからの図書館員の役割
講師：河合富士美氏（聖路加国際大学学術情報部）
(休憩 15 分)
- 14:20 - 16:30 【CE コース】文献検索演習中級 2024「医中誌 Web/PubMed」
(小休憩 10 分) 講師：亀井雄大氏（東邦大学医学メディアセンター）
村上千晶氏（東邦大学医学メディアセンター）
- 16:30 - 16:40 閉会式・修了証書配布についてのガイダンス (アンケート入力含む)

【研究発表】

大学医学系図書館における文系資料を用いたレファレンスについて
—戦前期「外地」留学生資料調査を一例として—

東京女子医科大学図書館大学史料室
油谷順子

大学史料室は図書館下の一部署で、本学に関する資料収集をし、それらの資料を基にレファレンス、学芸業務、大学史編纂、自校教育への協力などを行う。全ての活動の基本は資料であり、特に 1904 年創刊の学校の機関誌『女医界』の利用頻度が高い。

今回の発表の端緒となったのが、2022 年から相次いだ戦前期朝鮮人学生についての国内外からの問い合わせであった。コロナ対応による学外者図書館利用制限や、図書館での個人情報非公開などから、『女医界』の記載に限り史料室員が代行調査した。この際に国外の研究者が本学への「外地」留学生について研究を進めている実情を知り、留学生を受け入れた側である私たちも戦前の女子医学教育を巡る状況について、学外資料も含めて調査研究する必要を感じ、2023 年に JMLA の助成金を得て関連論文や資料の調査収集を行った。対象としたのは戦前の、特に朝鮮からの女子留学生に関する制度、文献、写真などで、これと並行して当室所蔵資料も今一度見直した。国立国会図書館憲政資料室では斎藤実関係文書に本学への留学学資受領を示す書簡があり、当室でも戦後の『女医界』までたどれば、ソウル近郊の卒業生 19 名が集った記事が確認できるなどの収穫があった。

調査の過程で他の医学系図書館での文系資料のレファレンス対応が気になり、戦前から続く医学系大学・学部の図書館 32 館にアンケートを依頼して 13 館より回答を得た。戦前期の留学生受け入れを示す資料は半数の館が所蔵し、卒業アルバム、教員の研究や年史の記載など二次資料も含めれば 8 割の館に及んだ。全面的な資料公開は 2 件だが、内 1 件はネット閲覧が可能であった。学校の機関誌は全巻所蔵が 1 館のみで欠号を抱える館が多く、来館の上で閲覧可能とする館が多かった。名簿など個人情報資料の閲覧は、相談に応じたり、図書館が代行調査したりと対応は様々だが、8 割近くで何らかの情報が得られる状況であった。文系資料の閲覧や質問には半数以上が図書館内で対応し、学内の他分館や他部署の協力も得て対応行う例もあった。同様の質問を本学と同様に明治大正期から卒業生を輩出している 12 の女子大学図書館に行い 4 館から回答を得たが、貴重書や機関誌、名簿類は閲覧不可の館が多かった。日頃より文系資料を扱い慣れ、閲覧可否が明確な館が多いためと思われる。

今回の調査では新資料の発見があり、アンケートでは、医学系図書館が個人情報資料の対応に苦慮しつつも文系資料のレファレンスに臨機応変に対応していると思われた。今回のアンケート内容を参考に今後レファレンスに応じたい。

東京慈恵会医科大学学術情報センター史料室におけるレファレンス業務

東京慈恵会医科大学学術情報センター

大崎 泉

東京慈恵会医科大学学術情報センターは、図書館、編集室、標本館、写真室、史料室、メディカルライティングオフィス、国際交流センターから構成されている。

東京慈恵会医科大学は、高木兼寛が明治 14 年に成医会講習所を創設したところから始まる。史料室は、昭和 40 年（1965 年）に大学創立 85 周年事業として史料編纂室が開設されたものが始まりで「東京慈恵会医科大学八十五年史」と「高木兼寛伝」の編集が行われた。この際に収集した資料をもとに史料室が設置され、昭和 59 年（1984 年）に医学情報センターとして、図書館、編集室、標本館、写真室、史料室が同部門となった。史料室は専任職員が担当していたが、前担当者の退職後は人員補充がなく、2018 年 7 月からは図書館職員が兼務で対応している。主な業務は見学対応や寄贈資料の整理、問合せへの回答、資料提供、史料室内の環境管理がある。学内外からの問合せや資料提供依頼は年間 80 件ほどあり、マニュアル検索で対応するため、すぐに回答できないものも多い。

担当して約 6 年の間に受けた問い合わせの中で、興味深い事例とその調査方法、回答について報告し、今後の課題についても考える。

タイトル コロナ禍における一地方医科大学・大学病院での臨床支援ツール・電子ジャーナル利用の分析

所属 獨協医科大学図書館

氏名 鈴木俊也

ヘルスサイエンス情報専門員資格：ヘルスサイエンス情報専門員（基礎資格）

発表要旨

[背景] コロナ禍において、多くの学術出版社等によって、COVID-19 に関連する論文が無償で公開され、電子ジャーナルの利用が増加した。しかし、コロナ禍における電子リソースや医学論文の種類の利用に関する先行研究では、COVID-19 論文の関連論文の利用動態について言及されていなかった。

[目的] コロナ禍において、一地方都市にある医科大学構成員による、臨床支援ツールと、電子ジャーナル COVID-19 関連の専門的な情報源へのアクセス動向と、流行期ごとのアクセス数の差異を明らかにする。

[方法] 2020 年 1 月から 2023 年 4 月までの、臨床支援ツール(UpToDate®)と電子ジャーナル 4 誌(New England Journal of Medicine、the BMJ、JAMA、Clinical Infectious Diseases)の利用統計をもとに、COVID-19 に関するトピック・論文へのアクセス数や割合を集計を行った。

[結果] 臨床支援ツールは、2021 年上半期に感染症に関するトピックへのアクセス数が上昇し、その後感染者数が増加した 2021 年 12 月以降は、月平均約 300 回以上のアクセスを記録した。

電子ジャーナルにおける COVID-19 の論文へのアクセス本数は、全体の内 10%を占めており、アクセス数は 12%であった。一方、雑誌により 1 ヶ月にアクセスされた論文の 60%以上が、COVID-19 関連論文を占める月もあった。

流行期ごとに感染状況や、ワクチン、治療薬の流通状況が、論文のアクセス数に影響を与えている可能性が示唆される。

[まとめ] 利用統計の分析により、感染の流行期により、COVID-19 論文へのアクセス数やアクセス本数など利用動態に差異があることが判明した。また、当発表で使用した分析手法は、COVID-19 以外にトピックで論文単位で利用者の情報入手の動態を知る手がかりとなる。

タイトル：埼玉医科大学における転換契約導入経緯と運用状況：シュプリングer・ネイチャー、ワイリーの事例報告

所属：埼玉医科大学附属図書館

氏名：田口宣行

ヘルスサイエンス情報専門員（基礎資格）

I. 背景

2022 年はワイリーと国内 4 大学の間で転換契約が開始された年として記憶に新しい。日本の複数の大学と大手出版社が参加した取り組みとしてはこれが初となる。翌 2023 年にはシュプリングer・ネイチャーが研究大学コンソーシアム（RUC）のメンバーを中心とする国内 10 大学とパイロット転換契約を開始した。さらに、2024 年は大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）がエルゼビアとの転換契約に合意し 51 大学が参加することとなり、大手 3 社の転換契約が出揃った年となった。

II. 埼玉医科大学における転換契約の導入経緯

本学では、2021 年に大手 3 社のパッケージ契約を解体し大規模な購読誌の縮小と経費削減を実施したが、毎年の値上げと為替の影響で、パッケージ解体前の購読額に戻るのには時間の問題であった。一方、国内の研究大学を中心とした大規模大学では転換契約が開始され、JMLA 会員館の間でも話題にのぼるようになった。実際のところ、本学を含め経費面で購読維持に苦慮している会員館にとっては、転換契約は非現実的な取り組みに見えていたと思われる。

しかしながら、本学では 2023 年秋の次年度契約見直し時期に、ワイリーとシュプリングer・ネイチャーから転換契約の提案を受けたことで、急遽、転換契約の導入を検討することになった。理由は、現契約の更新価格との差額が驚くほど小さかったためである。また、転換契約はパッケージ契約が前提となるので、個別購読に切り替えていた本学にとっては以前と同等の購読誌数に戻れる提案となっていた。以上の理由により、本学では 2024 年から 2 社の転換契約の導入を決定した。

III. 導入開始、導入状況

思いも寄らない形で転換契約を導入することになり、準備もままならなかったが、出版社のサポートと大学側、教員らの理解を得ることで、特に混乱もなく運用できている。8 月の時点で 2024 年分の OA 出版枠は上限に達しており、2 社合計で約 50 本を OA 論文として出版することができた。

IV. 課題と評価

準備不足で運用を開始したため、周知と広報が不足していることは否めない。著者には論文が受理された際にシステム的に転換契約による OA 出版の選択肢が提示されるので、その時にはじめて転換契約を認識する場合もあると思われる。中には、OA 出版を選択しない著者もあり、広報不足を感じている。その一方で、教員から OA 出版枠の残数の問い合わせもあり、図書館が考えているよりも教員の間では APC による OA が身近にあることがわかった。早くも 2025 年の OA 出版枠再開についての問い合わせがいくつか届いている。図書館としては、学内への周知とサポートに力を入れつつ、転換契約の維持、そして出版社の拡大を試みる予定である。

【CE コース】

システマティックレビューに

取り組むための基礎知識

—これからの図書館員の役割—

システマティックレビューに取り組むための基礎知識 — これからの図書館員の役割 —

第8回JMLA学術集会 2024年12月13日 (金)

聖路加国際大学学術情報部
静岡社会健康医学大学院大学客員共同研究員

河合富士美

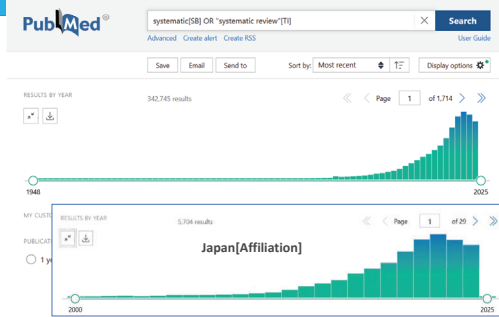
1

本日の内容

- ・システマティックレビューとは何か、どのように作られるか
- ・システマティックレビューの文献検索
- ・システマティックレビューと図書館業務
- ・共著者としての経験から

2

システマティックレビュー出版の増加



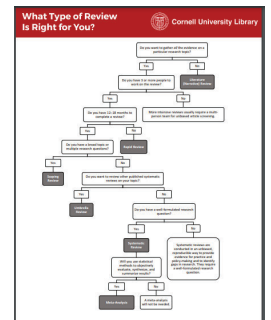
3

さまざまなレビュー

- ・What Type of Review Is Right for You?

https://guides.library.cornell.edu/ld.php?content_id=52561085

⇒資料1 (訳・改変)



4

文献(ナラティブ) レビュー

- ・テーマに関連のある文献の概観。
- ・そのテーマについて著者の見識で広く解説されており、方法論は標準化されていない。
- ・検索戦略や網羅性、対象期間は様々で、書式も決まっていない。

5

ラピッドレビュー:Rapid Review

- ・システマティックレビュー:SRの方法論を、時間に制約のある状況下で適用したレビュー
- ・エビデンス統合の一方法であり、SRの手法が合理化され、より迅速にレビューを完了するためにプロセスが加速される。バイアスが生じるリスクがある
- ・迅速な決定が必要な問題に対処するのに有用(コロナ禍で急速に拡大)

[参考]臨床医のための診療ガイドライン「COVID-19薬物療法に関するRapid/Living recommendations」の読み方

- (1) http://www.theidaten.jp/wp_new/20210410-88-1/
- (2) http://www.theidaten.jp/wp_new/20210410-88-2/
- (3) http://www.theidaten.jp/wp_new/20210410-88-3/

6

スコopingレビュー: Scoping Review・Systematic Map

- 特定の分野で利用可能なエビデンスの種類（介入研究、観察研究、症例報告、会議録など）を特定する
- 文献における重要な概念や定義を明確化する
- 特定のトピックや分野でどのような研究が行われているかを調査する
- 概念に関連する重要な特徴や要因を特定する
- SRの前段階の準備として、知識のギャップを特定し分析する

引用：北川孝, 明日からできるエビデンス構築。スコopingレビューが短期間で読める・書ける本。東京：メジカルビュー社、2024。p.3.表2 スコopingレビューの目的、適応。

- Systematic MapはEvidence Mapとも呼ばれ、Scoping Reviewと同様にエビデンスのギャップを特定し、Scoping Reviewが結果を記述的に要約するのに対し、文献の特徴の要約を描写するために表形式を使用する

【参考】スコopingレビューのための報告ガイドライン日本語版：PRISMA-ScR。
https://4n8kuykai.m3.com/journal/File/Preview_Journal.asp?auth=sy%5Cjournal%5C20200918110521%2D4BEF4825C1B681963555CB7F49AF71FE84A9308A58F758D197A0B5CXA08951F1E7%2E&id=348&id=3500&sub_id=51719&id=471

7

アンブレラレビュー:Umbrella Review

- 医学研究において複数のシステマティックレビューまたはメタアナリシスを統合的に分析したレビュー。傘（アンブレラ）のようにメタアナリシス等をまとめるため、そのように呼称される
- 対象トピックについて既知のものは何か、未知のものは何かを決定する
- 既存のエビデンスをどのように実臨床で用いるべきか決定する
- さらなる研究を必要とするものに対して推奨を行う
- アンブレラレビューはメタアナリシスと比べて対象となる研究数やサンプル数がより大きくなるため、情報の質がより高くなる。

【参考】ニコチンの消費が及ぼすNAFLDの発症および肝線維化抑制に関する4報のメタアナリシスによるアンブレラレビュー <https://www.fibroscan.jp/academic/182774220316/>

8

システマティックレビュー: Systematic Review

- 学術文献を系統的に検索・収集し、類似した研究を一定の基準で選択・評価した上で、明確で科学的な手法を用いてまとめる研究、またはその成果物のこと
- 定性的システマティックレビューでは、さまざまなバイアスを評価して、介入/要因曝露の効果への影響を推定する
- 統計学的な手法を用いて効果指標が定量的に統合されるメタアナリシスが行われる。システマティックレビューは、メタアナリシスの実施を含まないものを示す場合もある

引用：Minds診療ガイドライン作成マニュアル2020 ver.3.0 重要用語集
<https://minds.icqhc.or.jp/methods/cpg-development/minds-manual/>

9

定量的システマティックレビューと定性的システマティックレビュー

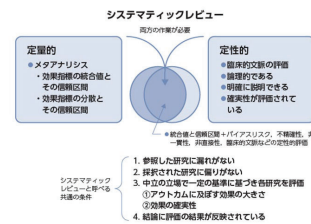


図 4-1 定量的システマティックレビューと定性的システマティックレビュー

Minds診療ガイドライン作成マニュアル
<https://minds.icqhc.or.jp/methods/cpg-development/minds-manual/>

10

システマティックレビューの作成方法 24のステップ

(出典・改変)

- Muka T, Glisic M, Milic J, Verhoog S, Bohlius J, Bramer W, Chowdhury R, Franco OH. A 24-step guide on how to design, conduct, and successfully publish a systematic review and meta-analysis in medical research. Eur J Epidemiol. 2020 Jan;35(1):49-60. doi: 10.1007/s10654-019-00576-5. Epub 2019 Nov 13. PMID: 31720912.

11

システマティックレビューの作成方法 24のステップ

Step 1: リサーチ・クエスチョンの決定

(参考) 「リサーチ・クエスチョンの作り方: 診療上の疑問を研究可能な形に」 [ISBN: 9784903803241]

- Step 2: チーム作成 主題の専門家2-3名、疫学専門家、図書館員
- Step 3: 検索戦略の決定 データベース選択、検索期間、絞り込み、フィルター
- Step 4: 選択基準の決定 (採用/除外)
- Step 5: データ抽出フォームの決定 RIS、EXCELなど
- Step 6: プロトコル作成と登録 PROSPEROなど

12

PROSPERO



PROSPERO is fast-tracking registration of protocols related to COVID-19

PROSPERO accepts registrations for systematic reviews, rapid reviews and umbrella reviews. PROSPERO does not accept scoping reviews or literature scans. Sibling PROSPERO sites registers systematic reviews of human studies and systematic reviews of animal studies.

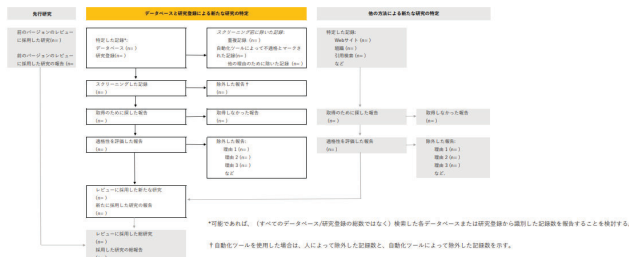
★SR投稿の際は登録の確認が求められる

<https://www.crd.york.ac.uk/prospero/>

システマティックレビューの作成方法 24のステップ

- Step 7: 複数のデータベースでの検索戦略を実行
- Step 8: すべての文献とその抄録を1つのファイルにまとめる
- Step 9: 重複除去
- Step10: 1次スクリーニング (2人1組)
- Step11: 1次スクリーニング結果の調整
- Step12: 2次スクリーニング (2人1組)
- Step13: 専門家への照会
- Step14: 引用検索
- Step15: 最終採用文献リストを作成、フローチャートに記載(PRISMA Flow Diagram)

システマティック・レビューのための PRISMA 2020 フローチャート



<https://static1.squarespace.com/static/65b880e13b6ca75573dfe217/t/65bad4fd149f642e90769967/1706743040084/PRISMA+Japanese+Figure+1.+PRISMA+2020+flow+diagram+template.pdf>

システマティックレビューの作成方法 24のステップ

- Step16: データ収集フォームの適用 (2人1組)
- Step17: 研究の質とバイアスリスク評価
- Step18: 分析用データベースの準備(RevManなど)
- Step19: 記述的統合の実施
- Step20: Meta-Analysisを行うかどうかの決定
- Step21: 異質性の探求
- Step22: 出版バイアスのチェック
- Step23: エビデンスの質をチェックする：提示された結果に対する信頼度
- Step24: 更新、報告、出版への提出

システマティックレビューのための文献検索

- 系統的な検索式を作成。重要文献が漏れないよう網羅的であることが最大の目標であるが、不必要な文献(ノイズ)を可能な限り減らすことも求められる
- 複数のデータベースおよび情報源を用いて可能な限りバイアスを無くす
- 必要と思われるが未契約のデータベースをどう扱うか検討する
- 文献データベースだけでなく必要に応じて臨床研究や会議録の検索を追加する
- 検索式が十分であるかどうかは引用検索を行うことが判断の支援になる

ゴルディロックスの原則

ゴルディロックスという名の少女は、3匹のクマが住んでいる家を見つける。ゴルディロックスは、3つのアイテムをそれぞれテストした結果、1つは常に一方の極端に多すぎ(暑すぎる、大きすぎるなど)、1つは反対の極端に多すぎ(寒すぎる、小さすぎるなど)、1つは「ちょうどいい」と判断する。

どのようなレビューをするにしても、ゴルディロックスの原則を守るようにしましょう。情報を深く掘り下げすぎたり(熱すぎる)、浅く読み飛ばしすぎたり(冷たすぎる)して、記事の意味のあるものにするのは避けたいものです。

Evidence Synthesis for Librarians and Information Specialists (DeepLで翻訳)
<https://oli.cmu.edu/courses/evidence-synthesis-for-librarians-and-information-specialists-o-f/>

SRの検索を担当したら

- インタビューまたはミーティングを行う
- チームメンバーの確認
- スケジュールの確認
- リサーチクエスションの確認
- スコーピングサーチ
- データベース、情報源の選択 (提案)
- 検索期間、言語等の絞り込みの確認
- スクリーニング方法 (データ抽出形式) の確認
- PROSPERO等への登録確認

19

SR文献検索のポイント

- シソーラスを使う (必須)
- 論題や抄録などに記載されているテキストワードを拾う (これも必須)
- 多すぎるときの絞り方、既知文献がヒットしない場合の広げ方の方法を知って最適な検索式を作成する

MEDLINE PubMed Production Statistics						
	FY2023	FY2022	FY2021	FY2020	FY2019	FY2018
PubMed Citations (Annual)	1,567,478	1,714,780	1,733,089	1,514,199	1,366,447	1,329,148
MEDLINE Citations Indexed (Annual)	1,279,327	1,369,611	1,291,807	952,919	956,390	904,636
PubMed独自件数	288,151	345,169	441,282	561,280	410,057	424,512
MEDLINE割合	0.816169	0.798709	0.745378	0.629322	0.69991	0.680613

https://www.nlm.nih.gov/bsd/medline_pubmed_production_stats.html

20

シソーラス PubMedの場合

- Majorにするかしないか
- 上位概念または下位概念を選ぶ必要はないか
- Explodeするかしないか
- Subheading つけるかつけないか
- MeSH付与年はいつか

21

テキストワード PubMedの場合

★必ずフィールドタグを付ける

- [TI]:論題
 - [TIAB]:論題と抄録
 - [TW]: 論題、抄録、その他の抄録、MeSH、SH、出版タイプ、物質名、件名としての個人名、法人著者、二次情報源、コメント/訂正注、およびその他の用語に含まれるすべての単語と数字。
- 【注】MeSH、SHは検索対象だがExplodeはされないので下位語がある場合はMHも必要。

22

先行するSRの検索式の参照

- 同じ疾患、同じ治療法をテーマとするCochrane Review: CDSRやシステマティックレビューをいくつか探し、その検索式を確認する
- 必ず検証して必要に応じて取り入れる
- CDSRはOVID MEDLINEを用いていることが多いので必要に応じてPubMedの検索式に変換する。ただし、全く同じ検索式は作れない。

(参考) Medline Transpose <https://medlinetranspose.github.io/>

23

検索フィルター

- 研究デザインを絞る場合は検索フィルターの利用を検討する
- 新しく研究により検証されたフィルターの利用が勧められる
- どれがよいかはテーマやチームの体力により試してみて判断するとよい

The ISSG Search Filter Resources

<https://sites.google.com/a/york.ac.uk/issg-search-filters-resource/home>

CADTH Search Filters Database

<https://searchfilters.cda-amc.ca/>

24

検索結果の出力

- スクリーニング方法に合わせた出力形式を選択する
- 文献管理ソフト (EndNote、Mendeley、RefWorksなど) → RIS
 - Excel → 各DBからCSV。ただし、PubMedの場合は抄録が入らない【注】
 - スクリーニングツール → そのツールによる

【注】PubMedデータを抄録付きExcelに出力する方法は以下の2つがある。
 BunKan: 診療ガイドラインWGが使用しているマクロファイル
 Rayyan: PubMedデータをnbibファイルでダウンロードしRayyanに取り込むと抄録付きCSVで出力できる。

25

主なスクリーニングツール

SRのスクリーニングは2名1組で行うがそれをWebで作業できるように開発されたツール。スクリーニングツールについて相談に乗れること、使い方の概要、インポート形式を把握しておくことよい。

	URL	利用	備考
ASReview	https://asreview.nl/	無料	自動化ツール。ある程度スクリーニングをすると自動で判定が行われる。あらかじめPythonのインストールが必要。
Rayyan	https://rayyan.qcri.org	有料	個人向け無料プランあり。重複除去もでき、わかりやすい。
SRDR+	https://sdrplus.ahrq.gov/	無料	AHRQが運営。Abstrackrのアルゴリズムを利用している。システマティックレビューデータの共同ウェブベースリポジトリ。このリソースは、アーカイブとデータ抽出ツールの両方の役割を果たし、世界中のシステマティックレビューを作成する組織や個人の間で共有され、システマティックレビューデータの中央データベースの作成を可能にし、継続的に批評、更新、補強することを目的としている。

26

SR支援と図書館業務

- Module 9
20. Institutional Factors and Expectations

Evidence Synthesis for Librarians and Information Specialists (DeepLで翻訳、一部修正)

<https://oli.cmu.edu/courses/evidence-synthesis-for-librarians-and-information-specialists-o-f/>

27

SR支援と図書館業務 コンサルタント

- システマティックレビューのプロセスに関する背景情報とリソースの提供
- データベース、プロトコル登録プラットフォーム、引用管理ソフトウェアの推奨
- 検索戦略の修正の提案
- コンサルタントとして、プロジェクトを通して図書館員が最大4時間のサポートを提供。(この時間はプロジェクトによって異なる場合がある)

28

SR支援と図書館業務 共著者

- データベースと情報源 (臨床試験・会議録など) を選択する
- 検索式を立案する
- 検索式をすべてのデータベースに翻案する
- 検索を実行し、引用文献管理ソフトウェア等にエクスポートする
- プロトコルにコメントする
- 重複排除を実行する、またはそのプロセスについてチームを訓練する
- スクリーニングツールの使用について助言する
- 論文のMethodセクションのうち、検索に特化した部分を書く

29

SR支援と図書館業務 コンサルテーションのみのモデル

- このモデルでは、エビデンス統合に取り組む研究者に対し、図書館員が単発のコンサルテーションを提供する。このコンサルテーションは、一般的に、チームがプロセスの各ステップで参照できるような、しっかりとしたLibGuideやリソースのセットと組み合わせられている。

例) ウェスタンミシガン大学の図書館は、共著者レベルのサポートを提供する能力はないが、検索戦略、引用管理、データ管理に限定したコンサルテーションを提供し、エビデンスの統合プロセスを通じて研究者をガイドするLibGuideを提供している

30

SR支援と図書館業務 スポンサー付きの共著者

- このモデルでは、司書は助成金を受けたプロジェクトの一部で行われるエビデンス統合に共著者としてのみ参加する。図書館は、助成金を通じて司書の時間に対する報酬を得ることができる。その他の相談サービス、ガイド、ワークショップは、助成金なしで研究者が利用できる場合もある。

例) ビクトリア大学では、助成金プロジェクトのための図書館サービスの一環として、システムティックレビューとエビデンス統合のサポートを提供している。プロジェクトにおける図書館員の協力は図書館からの現物支給として提供され、図書館員の役割は明確に定義されている。

SR支援と図書館業務 サービスの取り決めなし

- 多くの個々の職員が、それぞれの専門性や能力に応じて、程度の差はあれ、エビデンス統合のサポートを行っている。
- 分野横断的な中心的サポートや定義されたサービスモデルは存在しない。
- この種のサポートのために作成された包括的なLibGuideはよくあるが、明確なサービスについては言及されていない。

日本の例：北海道大学図書館



北海道大学 附属図書館
HOKKAIDO UNIVERSITY LIBRARY

ホーム 資料を探す 利用案内 図書館Webサービス 学習・教育支援情報 研究支援情報 附属

HOME 医学研究院/医学院/医学部 文献検索相談・代行サービス【医系グループ】

医学研究院/医学院/医学部図書館
LIBRARY, SCHOOL OF MEDICINE

文献検索相談・代行サービス

Roles for librarians in systematic reviews: a scoping review

【目的】システムティックレビューの実施において、図書館員や情報専門家はどのような役割を果たしているのだろうか。図書館員がシステムティックレビューに関与する必要性はますます高まっているが、図書館員が果たしうるすべての役割について検討した研究はない。この既存および新たな役割の調査は、図書館員のシステムティックレビュー業務を定義する一助となるものである。

【方法】このスコーピングレビューのために、著者らはPubMed、Library, Information Science & Technology Abstracts、CINAHLの各データベース... (以下、略)

【結果】システムティックレビューを実施する際に図書館員やその他の情報専門家が果たす18の異なる役割を、310の異なる論文、書籍の章、発表された論文やポスターから特定した。いくつかの役割は、検索、情報源の選択、指図などよく知られているものであった。また、あまり文書化されていない役割としては、計画立案、RO策定、査読などがある。これらの様々な役割を要約し、これらの役割に関する詳細な記述の参考文献を添付した。

【結論】司書は、検索にとどまらない役割を含め、システムティックレビューチームにおいて中心的な役割を果たしている。このスコーピング・レビューは、ここで把握されていない役割を担っているライブラリアンに、ジャーナル論文やポスター、論文発表でその役割を文書化するよう促すものである。

Suzuki AI, Edwards JD. Roles for librarians in systematic reviews: a scoping review. J Med Libr Assoc. 2018 Jan;106(1):46-56. doi: 10.1093/jml/abx022. Epub 2018 Jan 2. PMID: 29359533. URL: https://doi.org/10.1093/jml/abx022

Navigating Burnout: Strategies for Re-engaging in Systematic Review Work

- October 23, 2024アメリカMedical Library Associationで開催されていたセミナー
<https://www.mlanet.org/courses/navigating-burnout-strategies-for-re-engaging-in-systematic-review-work/>
(紹介文)

システムティック・レビューに携わり、ストレスやバーンアウトを感じている方、それを避けたいと思っている方に、3人の経験豊富なレビュアーが、バーンアウトを和らげ、防ぎ、プロフェッショナルな生活に再び取り組む方法を紹介します。これは、システムティック・レビューに携わり、仕事で成功したいと考えている医学図書館員にとって、必須のウェビナーです！ ※未受講

共著者の基礎知識

河合富士美 業績 <https://researchmap.jp/fujimi.kawai>

PubMed search results for author Fujimi Kawai. The search query is 'kawai fujimi[Author]'. The results show 40 results. The first result is 'Intermittent Versus Daily Trimethoprim/Sulfamethoxazole Regimens for Pneumocystis Pneumonia Prophylaxis: A Systematic Review and Meta-analysis' by Masaki T, Ishikawa K, Fujino T, Koyamada R, Kawai F, Ota T, Mori S. Published in Open Forum Infect Dis. 2024 Sep 21. PMID: 39246493. The second result is 'Fluid Restriction for Patients with Heart Failure: Current Evidence and Future Perspectives' by Kato M, Nagatomo Y, Kawai F, Kishi T, Mizuno A. Published in J Prev Med. 2024 Jul 11;147(2):741. doi: 10.3390/jpm14070741.

共著者としてのSRチーム参画

担当または関与・確認することが必要なStep

- Step 1 からStep 9
- Step14からStep16
- Step24

出版社への投稿に当たっては雑誌へ著者登録が必要になることがある。多くの場合、ORCIDに登録しておくことで個々の登録をスキップできる。

ORCID <https://orcid.org/signin>



37

論文の作成・査読・修正への対応

(当然ながら) 論文そのものの内容を理解し意見を述べることはできない、しかし、以下については対応可能。

- 論文のMethodやAppendixなど検索に係る記載の確認
- 採用文献リストや引用文献リストの確認
- 誤字・脱字の確認
- 査読コメントへの対応確認
- 投稿先の提案

38

対応に苦戦した事例

- 2022/06 依頼 (学内2つの診療科のチーム。司書と疫学専門家1名も参加)
- 2022/07 打ち合わせ、検索結果提出
- 2022/09 スクリーニングをしながらPROSPERO登録準備
- 2022/12 PROSPERO登録完了
- 2023/06 SR/論文案作成をチームで検討
- 2023/09 英文校正
- 2023/10 A誌投稿
- 2023/11 A誌reject
- 2024/01 A誌からの査読コメントを参照し大幅に修正
- 2024/02 B誌再投稿⇒reject
- 2024/04 C誌再投稿⇒reject
- 2024/05 D誌再投稿⇒reject
- 2024/06 E誌再投稿
- 2024/07 E誌 major revision 大幅に修正
- 2024/09 E誌掲載

Author contributions. T. M., K. L. T. F., and R. K. conceived and designed the study. T. M., K. L. T. F., R. K., and E. O. designed and performed the search strategy. T. M., K. L., and T. F. screened and selected the articles. T. M., K. L., and E. O. extracted the data and assessed the risk of bias. T. M. analyzed the data. K. L., E. O., and S. M. supervised the data analysis. T. M., K. L., and E. O. rated the certainty of evidence. T. M. and K. L. interpreted the data. T. M. and K. L. drafted the manuscript. T. F., R. K., E. O., and S. M. reviewed and revised the manuscript. All authors read and approved the final version of the manuscript.

39

システマティックレビューを志す方へ

- 需要は確実にある
- 図書館員が取り組むべき業務
- 業務としてどれだけ、どの程度支援できるか各図書館で検討する
- MLAにはSR専用のMLがある？(退会したので現在もあるか不明) 気楽な感じで情報交換が行われていた
- 情報交換・教育の機会が充実することが望まれる



40

【CE コース】

文献検索演習中級 2024

医中誌 Web

文献検索演習中級2024 「医中誌Web」



© 2019 Toho Univ. MC & SUNMEDIA
メディアセンターのマスコットキャラクター
とぼにゃん

JMLA学術集会CEコース

講師: 亀井雄大

所属: 東邦大学医学メディアセンター

1

自己紹介

名前: 亀井雄大

所属: 東邦大学医学メディアセンター本館

医学部図書館勤務9年目です。

「文献検索ヘルプデスク」の担当として6年間、利用者の検索支援を行って来ました。

今回はその経験等を踏まえて、利用者支援としての文献検索をお話します。

2

ヘルプデスクサービスの紹介

- 本センターでは「資料管理型」から「利用者支援型」への業務シフトに取り組んでいる。
- 7つのヘルプデスクを用意し職員1人あたり1~3のヘルプデスクを担当している。
 - 「文献検索」「文献管理ツール」「著作権」「Microsoft Office」「統計ソフト」「LMS」「EBM・診療ガイドライン」「オープンアクセスヘルプデスク(12/2予定)」
- 各ヘルプデスクでの対応事例は記録・共有している。

「文献検索演習中級」では文献検索ヘルプデスクの亀井が医中誌Webを、村上がPubMedを紹介します。

3

文献検索演習「中級」について

今回の中級のレベル

■アドバンスト

○目標 医中誌 Web・PubMed を使い、シソーラスや付加的機能を使ってさらに的確な検索ができる。EBM 支援のための検索方法を理解する。

★レベル設定: 一通りの操作を理解し、利用者向け講習会ができる。臨床チームの EBМ 支援ができる。

JMLA文献検索講習会ガイドライン医中誌Web・PubMedページアドバンストコース
<https://jmla1927.org/doc/event/outline.pdf> (アクセス2024/10/16)

本演習では、初級+基礎で学習した知識をもとに
利用者支援ができるようになることを目的と設定した。
初級とE-ラーニングの内容は基本的に触れない。

4

目次

- #1 重要項目の復習
- #2 事前課題の解説
- #3 利用者支援のための文献検索
- #4 演習
- #5 まとめ
- #6 質疑応答

5

#1 重要項目の復習



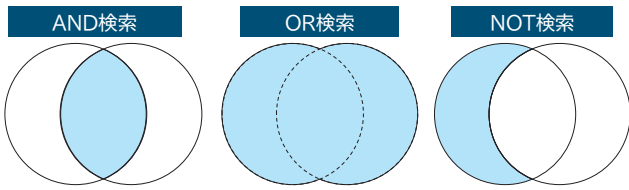
© 2020 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

重要な点だけ簡単に復習します。

6

#1 重要項目の復習

【復習】論理演算



AND検索
2つの検索用語をかけ合わせて検索する。検索結果を絞り込むときに使用する。

OR検索
類義語・関連語を補い検索範囲を拡大するときに使用する。

NOT検索
検索用語や検索式間の差異を確認する際に使用する。検索式Aでヒットして、Bでヒットしないのはなぜかなど。

利用者支援の文脈ではNOT検索は取り扱わなくてもいいかもしれません。

#1 重要項目の復習

【復習】検索タグ

検索対象項目を指定するタグ。
医中誌Webでは「検索用語/検索タグ」で記載する。

よく使う検索タグ

検索対象項目	検索タグ	記載例
すべて	AL	糖尿病/AL
タイトルのみ	TI	糖尿病/TI
タイトルと抄録	TA	糖尿病/TA
統制語	TH	糖尿病/TH
メジャー統制語	MTH	糖尿病/MTH

#1 重要項目の復習

【復習】シソーラスの機能

1. 統制語

- ある概念を代表する用語。
- 同じ統制語のもとに文献と検索が管理される。

2. 同義語

- 統制語と同義となる用語。同義語での検索時に統制語を案内する。

3. 上位語, 下位語

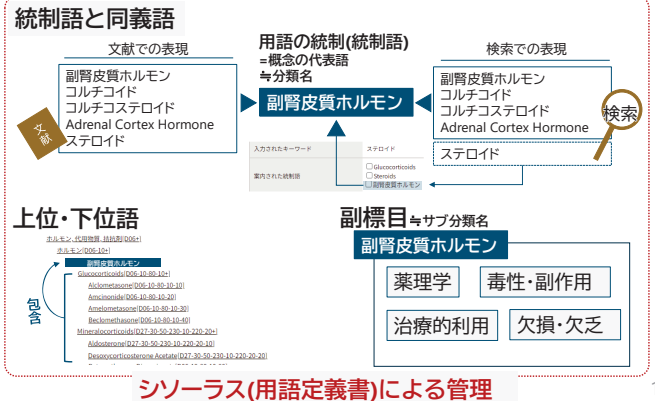
- ある統制語の上位(抽象)か下位(具体)に当たる語。
- 上位語の検索結果には下位語の検索結果が含まれる。

4. 副標目

- 文献や検索の観点を明確化するために統制語と一緒に用いる。

#1 重要項目の復習

【復習】シソーラスの機能の視覚的補足



#1 重要項目の復習

【復習】シソーラスブラウザ



#2 事前課題の解説



© 2020 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

#2 事前課題の解説

事前課題の解説と解答例

医学部の学生から

「小児を除く急性リンパ性白血病の治療について最新(5年以内)の文献を調べたい。授業の一環で総説論文を書くことになり、抽象的なテーマだけ決まっている。まだ具体的な方向性が決まっていないので、先行研究を調べると指導教員に言われた」という問い合わせがあった。

ポイントは2つ

- ・小児を除く, の実現方法
- ・「治療」の副標目の使い方

13

#2 事前課題の解説

事前課題解説(1. 検索準備)

(1)検索課題のPICO化

- ・ PICOは無理に作成しなくて大丈夫。
→PもIもCもOも明示されていない。

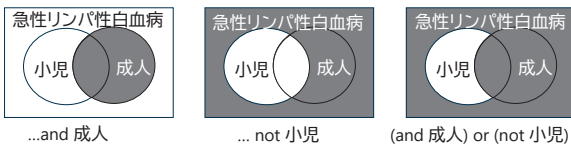
14

#2 事前課題の解説

事前課題解説(2. 検索式とフィードバック)

ポイント1:「小児を除く」をどう実現するか

- ・チェックタグを用いる場合は(and 成人) or (not 小児)。
・年齢区分がない, あるいは小児と成人に渡る文献もヒットする。



- ・絞り込み条件から利用するときには詳細画面もチェックするとよい。

15

#2 事前課題の解説

事前課題解説(2. 検索式とフィードバック)

ポイント2:副標目の処理に注意

(/TH or /AL) and (SH=)の解釈として正しいのはどっち?

論理演算の分配法則 (A or B) and C = (A and C) or (B and C)

A (/TH or /AL) and (SH=)
= (/TH and SH=) or (/AL and SH=)

B (/TH or /AL) and (SH=) 副標目が先に検索(シソーラス用語)を優先 **正解**
= (/TH or /AL) and (/TH and SH=)
= (/TH and (/TH and SH=)) or (/AL and (/TH and SH=))

副標目は検索式中の標目(シソーラス用語)を分配法則の先に検出し結合する。一言で言えば、「副標目を使うと/ALが無視される懸念がある」

※ただし一部の副標目利用時には/THが補足的につくため、/ALが生き残るものもある。

16

#2 事前課題の解説

事前課題解説(2. 検索式とフィードバック)

ポイント2:副標目の処理に注意 - THと先にくっつく例

<input type="checkbox"/>	#1	【白血病,リンパ腫-前駆細胞リンパ芽球性/TH or 急性リンパ性白血病/AL】	16,189件
<input type="checkbox"/>	#2	【#1】and (SH=診断の利用,診断,画像診断,X線診断,放射線核種診断,超音波診断)	2,211件
<input type="checkbox"/>	#3	【白血病,リンパ腫-前駆細胞リンパ芽球性/TH and (SH=診断の利用,診断,画像診断,X線診断,放射線核種診断,超音波診断)】	2,211件
<input type="checkbox"/>	#4	【急性リンパ性白血病/AL and (SH=診断の利用,診断,画像診断,X線診断,放射線核種診断,超音波診断)】	1,541件
<input type="checkbox"/>	#5	【#3 or #4】	2,878件
<input checked="" type="checkbox"/>	#6	【((【白血病,リンパ腫-前駆細胞リンパ芽球性/TH and (SH=診断の利用,診断,画像診断,X線診断,放射線核種診断,超音波診断)】 or 【急性リンパ性白血病/AL and (SH=診断の利用,診断,画像診断,X線診断,放射線核種診断,超音波診断)】) and (SH=診断の利用,診断,画像診断,X線診断,放射線核種診断,超音波診断)】】	2,211件

#2と#5と#6の検索式はすべて同じだが、履歴の掛け合わせ検索をした#5だけが青×黄色を含んでいる。

意識的な検索ではフリータームと副標目を一緒に使いたいと思う場面はないはずだが、絞り込み機能の説明時や検索結果の共有時などで、これによる弊害が起きて慌てるかもしれない。仕様として理解しておきたい。特に検索式を共有する際には履歴検索の結果と、最終検索式のコピー検索の結果が一致することを念のため確認したい。

17

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(2.検索式とフィードバック)

- Part1: 統制語での検索**
- ・統制語と副標目「治療」を使って検索
 - ・チェックタグで「小児以外」を実現する
 - ・#3で成人の文献群
 - ・#5が小児以外の文献群
 - ・#6で成人か小児以外の文献群

- Part2: フリーターム検索**
- ・統制語での検索漏れを補う。
 - ・治療は用語列挙
 - ・「小児以外」は成人か not小児

- Part3: 組み合わせとフィルター**
- ・part1 or part2 で5,247件
 - ・※Part2の効果は約500件
 - ・5年で1,141件
 - ・これだと学生には多いので文献タイプ指定原著と「解説・総説」で594件

18

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(2.検索式とフィードバック)

(1)最終検索式の例

((((((((("白血病-リンパ腫-前駆細胞リンパ芽球性"/TH) and (SH=薬物療法,外科的療法,食事療法,治療,精神療法,放射線療法))) and (CK=成人(19~44),中年(45~64),高齢者(65~),高齢者(80~))) or (((("白血病-リンパ腫-前駆細胞リンパ芽球性"/TH) and (SH=薬物療法,外科的療法,食事療法,治療,精神療法,放射線療法))) not (((("白血病-リンパ腫-前駆細胞リンパ芽球性"/TH) and (SH=薬物療法,外科的療法,食事療法,治療,精神療法,放射線療法))) and (CK=胎児,新生児,乳児(1~23ヶ月),幼児(2~5),小児(6~12),青年期(13~18)))))) or (((急性リンパ性白血病/AL) and ((治療/TI or 療法/TI or 効果/TI or 奏功/TI or 改善/TI or 診療/TI or 評価/TI or 移植/TI))) and ((成人/TH or 成人/AL))) or (((急性リンパ性白血病/AL) and ((治療/TI or 療法/TI or 効果/TI or 奏功/TI or 改善/TI or 診療/TI or 評価/TI or 移植/TI))) not ((小児/TH or 小児/AL)))))) and (DT=2019:2024))) and (PT=原著論文,解説,総説,図説,Q&A,講義)

(2)ヒット件数:594件 (2024/10/16)

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(2.検索式とフィードバック)

(3)フィードバックや提案の例

- ・シソーラスと副標目を使うことでテーマに見合った検索が可能になります。
- ・成人だけ選択すると年齢区分のない文献が脱落するので仕様には注意してください。
- ・テーマが絞りきれていない状態なのでヒット件数が多くなっています。
- ・最新の創設を読んでトレンドを理解したり、治療の種類を限定したりといった検索対象の限定が必要だと思います。
- ・参考になる文献が見つかったらシソーラス用語などに注目して検索すると良いでしょう。

#2 事前課題の解説

課題という枠を超えて考えるなら

今回は文献検索の課題として、医中誌Webで取り組んでいただいた。

しかしこの事例では文献検索ではなく、UpToDateや図書の紹介でも良いかもしれない。

X 利用者が言った通りの支援をする

○ 利用者のニーズを理解し、適切な情報資源に案内する

図書館としてどのようなツールを使えるか理解しておきたい。

#3 利用者支援のための文献検索

文献検索支援の目標

利用者の属性や検索テーマを加味して、許された時間内にできるだけ効果的な支援を行う。

【検索支援の目標例】

1. ニーズを叶える
 - ・利用者の困難を解消する。
2. 図書館員が支援者であるとアピールする
 - ・困った時に図書館員に相談してもらえるようにする。
3. 独り立ちしてもらう
 - ・利用者が自己のニーズを検索式として表現できる。

#3 利用者支援のための文献検索

文献検索を支援する手順1

(1)聞き取り調査

- ・検索テーマや疾患概念を尋ねる。
- ・相手の知識レベルやニーズを見定める。
- ・相手のPCスキルレベルを見定める。
- ・PICOを作成する。

具体的には

- ・日本語か英語か(医中誌WebかPubMedか)
- ・なにを目的とした相談か
- ・どのくらいの時間があるか
- ・利用経験はあるか
- ・自分で検索してみたか。そのときに何を課題と感じたか
- ・重要文献(=標的文献)があるか
- ・いつまでに必要なか

これらの項目は検索しながら尋ねるのがいいと思います！

相手の時間に合わせて説明する量と質を想定するといいです。

#3 利用者支援のための文献検索

文献検索を支援する手順2

(2)検索実践とコミュニケーション

- ・利用者の困っている点やPCの操作知識レベルを把握する。
- ・自身の検索課題に対する理解度を上げる。
- ・周辺用語の必要性を確認し、検索範囲を具体化する。
- ・検索上の課題や疑問をフィードバックする。

具体的には

- ・聞いた用語で簡易検索してみる
- ・検索式の問題を把握する
- ・結果を一緒に確認する
- ・検索技法について説明する
- ・再検索をする

検索をしながら課題点などを相手と共有し、その過程でシソーラスについてや論理演算など検索技法の話も交えて説明するとよいと思います。

#3 利用者支援のための文献検索

文献検索を支援する手順3

(3)まとめと提案

- ・検索結果についてまとめ、提案する。
- ・必要な検索技法についておさらいする。

まとめと提案の例

- ・「この検索は難しいので持ち帰っても良いですか。メールします」
- ・「ひとまずこんな感じでやってみてください」
- ・「医中誌Webでは難しそうなのでPubMedも視野に入れたほうが良いです」
- ・「テーマをもっと絞らないと厳しいかもしれません」

相手の時間に合わせて説明項目を選択する。
全体で30分くらいはかかると想定。

25

#3 利用者支援のための文献検索

文献検索を支援する際に用意しておくといいいもの

- ・ **紙とペン(図示説明や利用者名の記録などのため)**
 - ・ ペン図を書いて視覚的に説明できる。比喩的な説明も可能になる。
- ・ **説明用の検索例(検索技法を網羅的に伝えるため)**
 - ・ 一般的であり各種検索機能の説明に適している検索例を用意する。
 - ・ 疾患概念にある程度通じているとなおよい。
 - ・ 日英の検索事例として適しているとさらによい。
 - ・ 検索例が決まれば説明用のストーリーも用意しておく。
 - ・ 説明の順序(検索タグ→シソーラス…)なども考慮。
- ・ **支援用端末**
 - ・ すぐに支援できるようにしておきたい。
 - ・ My医中誌やRefworksなどのログインでも可能にしておく。
 - ・ 医中誌Webなどのメールアラート画面などスクリーンショットやパワポも用意しておくといいいかも。

26

#3 利用者支援のための文献検索

説明用の検索例の候補

- ・ **糖尿病×○○**
 - ・ 糖尿病は一般的で誰でも通じる。
 - ・ 糖尿病I型, 糖尿病II型があり, 上位下位が分かりやすい。
 - ・ 医中誌WebとPubMedでも通じる。
- ・ **○○の候補=糖尿病で説明できないことの補完**
 - ・ 糖尿病は同義語の表現レパートリーがないのでこれを補いたい。
 - ・ 例えば、「腸内細菌叢」とすると、「腸内フローラ」といった同義語での検索意義や, シソーラスでカバーできていない類縁語を説明できる。
 - ・ また腸内細菌の種類(乳酸菌やビフィズス菌)が検索範囲に入っていないこと, 腸内細菌叢の乱れ(dysbiosis)が下位概念にないので類縁語として補った方がいいかもといった説明ができる。
 - ・ 医学的に価値ある検索例かどうかはある程度調べておきたい。

27

#3 利用者支援のための文献検索

説明用の検索例の候補:その他

- ・ **川崎病**
 - ・ 川崎病院がもれなくヒットする。検索タグの有用性を示す。
- ・ **ステロイド**
 - ・ 下位語が豊富。上位語・下位語とシソーラスの説明に。
 - ・ 統制語の選択が生じるのも説明材料としていい。
- ・ **キャリア(能力開発)**
 - ・ 医中誌Webでは「保菌者状態」にマッピングされる。
 - ・ 自動マッピングの仕組みや検索式の確認の重要性を示すために。
- ・ **虫歯, う歯, 齲蝕, う蝕**
 - ・ 同義語の説明に。
 - ・ ちなみに「う歯/AL」は「~に伴う歯」などもヒットする。
 - ・ 英語でも同義表現(caries, tooth decayなど)が多い

28

#3 利用者支援のための文献検索

【参考】文献検索の手順

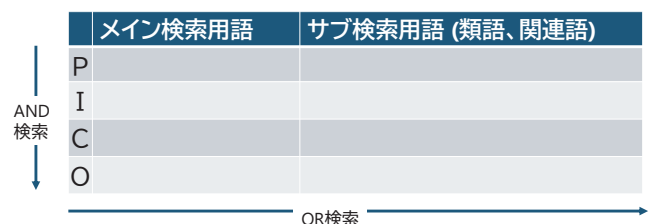
1. 疾患概念に関する聴取や学習
2. PICO作成
3. 試験的検索
 - ・ シソーラス検討
 - ・ その他の検索用語の採取
 - ・ 重要文献候補の発見
4. 検索式の作成と検索
5. 検索式の評価→ 必要に応じて2や3に戻る
6. 最終検索式の決定

29

#3 利用者支援のための文献検索

【補足】PICOは論理演算の説明に便利

- ・ PICOは必須ではないが, 例えば下表のようなものを用意しておけば, 視覚的に論理演算を説明できる。
 - ・ P,I,C,OはAND検索。同階層のメイン, サブはOR検索。



30

#3 利用者支援のための文献検索

補足: 医中誌Webの機能説明の順番

- 履歴検索の方法とAND検索 (AND)
- 検索タグとシソーラス導入, OR検索
- 自動マッピング
- フィルタリング
- シソーラス-上位語・下位語(必要に応じて)
- シソーラス-副標目(必要に応じて)

この説明順におけるストーリー例

検索は一語ずつ検索しましょう。その結果を履歴検索で検索してください。この方法ではそれぞれの単語のヒット件数を評価できます。検索式の/ALや/THは検索項目を意味しています。ALは「All Fields」の略で、全ての項目を対象に検索します。THはシソーラス用語といいます。文献情報のキーワードの部分を検索しています。医中誌Webにおけるこの文庫の分類とお考えください。これらがORで繋がっているため、文献情報のすべての項目をこの言葉で、また文献についてキーワード部分を対象にこの言葉で検索しています。……

それでは実践



© 2020 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

#4 演習

演習課題

医学部学生より

「プロバイオティクスの糖尿病の発症予防効果についてレポートを書きます。プロバイオティクスとは例えば乳酸菌ですが、血糖値の低下や肥満が抑止できるらしいです。この結果として、糖尿病の発症リスク低減も期待されています。論文の検索の仕方を教えてくださいませんか。日本語が良いです」

この演習課題について医中誌Webで検索を行ってください。時間は8分です。

かっちりとした検索式を構築することを目的とせず、利用者支援という文脈で自分ならどう対応するかを意識しながら、演習を行ってください。検索過程で気づいたことや利用者に伝えたいことを記録してください。

#4 演習

聞き取りに基づくPICO

	メイン検索用語	サブ検索用語 (類語、関連語)
AND 検索	P	
	I	プロバイオティクス 乳酸菌
	C	
	O	糖尿病の予防 血糖値の低下, 肥満の改善
	OR検索	

#4 演習

ポイント1 プロバイオティクスと乳酸菌

- シソーラスを見るとプロバイオティクスと乳酸菌は上位下位概念にないのでOR検索が必要。
- 乳酸菌は「乳酸菌」という医中誌フリーキーワードにマッピングされるが、「Lactobacillus」というシソーラス用語が別にある。これも検索したほうがいい。

<input type="checkbox"/>	#1	(Lactobacillus/TH or ラクトバチルス/AL)	4,165件
<input type="checkbox"/>	#2	(乳酸菌/TH or 乳酸菌/AL)	7,728件
<input checked="" type="checkbox"/>	#3	#1 or #2	10,426件

#4 演習

ポイント2 糖尿病の予防

- 糖尿病の予防は副標目を用いるとよい。
- ただし副標目を用いた場合にはAL部分が無視されることがあるので気をつける。

<input type="checkbox"/>	#1	(糖尿病/TH or 糖尿病/AL)	431,391件
<input type="checkbox"/>	#2	(#1) and (SH=予防)	10,662件
<input type="checkbox"/>	#3	糖尿病/TH and SH=予防	10,662件
<input checked="" type="checkbox"/>	#4	糖尿病/AL and SH=予防	22,591件

#4 演習

ポイント3 糖尿病の検索タグ

- 糖尿病は所属や誌名などに利用されるため、AL検索だとサイズが多くなる。

当院での糖尿病性腎症重症化予防に向けた取り組みの実績(会議録)

緒方 康祐(大阪赤十字病院 糖尿病内分泌内科), 村部 公亮, 櫻井 絢, 金井 有希
糖尿病 (0021-437X)66巻Suppl.1 Page S-225(2023.04)

2023232380

- 適切な検索タグを検討する。(TIやTAなど)

<input checked="" type="checkbox"/>	#5	糖尿病/TA and 予防/TA	13,374件
-------------------------------------	----	------------------	---------

#4 演習

講師の検索式の例1 (2024/10/17)

<input type="checkbox"/>	#1	(プロバイオティクス/TH or プロバイオティクス/AL)	6,301件
<input type="checkbox"/>	#2	(糖尿病/TH or 糖尿病/AL)	431,391件
<input type="checkbox"/>	#3	#1 and #2	197件
<input type="checkbox"/>	#4	予防/AL	649,132件
<input checked="" type="checkbox"/>	#5	#3 and #4	53件

- プロバイオティクス×糖尿病×予防の単純検索。
- #5の53件もしくは#3の197件を見てもらうでもいいかもしれない。しかし医学部生であることを考えると、教育的側面を考慮して、少し検索技法について紹介したい。
- 網羅性についても若干心配。

#4 演習

検索過程におけるPICOの補記

	メイン検索用語	サブ検索用語 (類語、関連語)
AND 検索	P	
	I	プロバイオティクス
	C	
	O	糖尿病の予防
		OR検索
		プレバイオティクス, シンバイオティクス, 乳酸菌, ビフィズス菌, 腸内細菌, 腸内フローラ……
		乳糖菌/TH or 乳糖菌/AL
		血糖値の低下, 肥満の改善 耐糖能・糖代謝の改善, インスリン抵抗性の改善

この状態で利用者に渡せば、利用者自身でも検索が可能になると思います。

#4 演習

講師の検索式の例2 (2024/10/17)

<input type="checkbox"/>	#1	(プロバイオティクス/TH or プロバイオティクス/AL)	6,301件
<input type="checkbox"/>	#2	(プレバイオティクス/TH or プレバイオティクス/AL)	1,944件
<input type="checkbox"/>	#3	(シンバイオティクス/TH or シンバイオティクス/AL)	731件
<input type="checkbox"/>	#4	(乳糖菌/TH or 乳糖菌/AL)	4,165件
<input type="checkbox"/>	#5	(Lactobacillus/TH or ラクトバチルス/AL)	4,165件
<input type="checkbox"/>	#6	(Bifidobacterium/TH or ビフィズス菌/AL)	3,403件
<input type="checkbox"/>	#7	(消化管微生物群/TH or 腸内細菌/AL)	29,273件
<input type="checkbox"/>	#8	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6 or #7	41,314件
<input type="checkbox"/>	#9	(糖尿病/TH or 糖尿病/AL)	431,391件
<input type="checkbox"/>	#10	(#9) and (SH=予防) 糖尿病/TH and SH=予防	10,662件
<input type="checkbox"/>	#11	糖尿病/TA and 予防/TA TALに限定	13,374件
<input type="checkbox"/>	#12	#10 or #11	19,842件
<input checked="" type="checkbox"/>	#13	#8 and #12	150件

類語補充することで分母を増やし糖尿病の副標目「予防」を利用した。OR検索の技法や副標目などについても説明できる。ヒット件数もある程度増えたので検索技法の必要性を視覚的にも訴えられる。

#4 演習

講師の検索式の例3 (2024/10/17)

<input type="checkbox"/>	#1	(プロバイオティクス/TH or プロバイオティクス/AL)	6,301件
<input type="checkbox"/>	#2	(プレバイオティクス/TH or プレバイオティクス/AL)	1,944件
<input type="checkbox"/>	#3	(シンバイオティクス/TH or シンバイオティクス/AL)	731件
<input type="checkbox"/>	#4	(乳糖菌/TH or 乳糖菌/AL)	7,728件
<input type="checkbox"/>	#5	(Lactobacillus/TH or ラクトバチルス/AL)	4,165件
<input type="checkbox"/>	#6	(Bifidobacterium/TH or ビフィズス菌/AL)	3,403件
<input type="checkbox"/>	#7	(消化管微生物群/TH or 腸内細菌/AL)	29,273件
<input type="checkbox"/>	#8	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6 or #7	41,314件
<input type="checkbox"/>	#9	(糖尿病/TH or 糖尿病/AL)	431,391件
<input type="checkbox"/>	#10	(#9) and (SH=予防)	10,662件
<input type="checkbox"/>	#11	糖尿病/TA and 予防/TA	13,374件
<input type="checkbox"/>	#12	((血糖/TH or 血糖値/AL) or (空腹時血糖値/TH or 血糖値/AL))	51,843件
<input type="checkbox"/>	#13	#10 or #11 or #12	69,333件
<input checked="" type="checkbox"/>	#14	#8 and #13	336件

かなり増える

一例としてアウトカムに血糖値を追加した。相手の要求とは少し異なるが、「糖尿病の予防」だけでは血糖値についてはあまりヒットしていないと伝えられる。アウトカムの再検討を検討してもらう材料として検索結果を示せる。

#4 演習

講師ならどう対応するか

- 聞き取り調査
 - 文献検索経験はあるか、お時間はどのくらいあるか。
- 検索とフィードバック
 - 医学論文の検索には医中誌Webが適している。
 - 履歴検索を用いて、キーワードごとに検索して。
 - PICOをつくってみましょう。
 - 「予防」と検索しなくても「プロバイオティクス×糖尿病」で197件なのであまり文献が多くないのかもしれない。
- まとめと提案
 - 197件出るのでまずはざっと見てみるといい。
 - プロバイオティクスの検索範囲を検討すると増えるだろう。
 - アウトカムの定義によってヒット件数が増大するので、その点には気をつけてほしい

#5 まとめ

文献検索支援のまとめ

1. 医中誌Webの利用者支援は初学者が多い印象。
2. 良い検索式を作ることに固執せず、ニーズを把握し解決することに重きを置く。
3. 検索しながら利用者教育を心がける。
「魚を与えるのではなく釣り方を教える」
4. 図書館員のスキルをアピールする。
5. 満足度を上げる(相手がただ待っている時間を作らない等)。
6. 説明用の検索例を用意しておく。
7. 自分の検索テーマを持つ(得意な疾患を持つ)。
8. なぜこの結果になるんだ?がスキルアップの近道。
→NOT検索による差分確認, シソーラス説明...

43

文献検索演習中級2023 「医中誌Web」

ご清聴ありがとうございました

JMLA学術集会CEコース

講師: 亀井雄大

所属: 東邦大学医学メディアセンター



© 2013 Tsho/SHU, AK & SUNAMEDIA
メディアセンターのマスコットキャラクター
とほちゃん

44

【CE コース】

文献検索演習中級 2024

PubMed

文献検索演習中級2024 「PubMed」



JMLA学術集会CEコース

講師：村上千晶

所属：東邦大学医学メディアセンター
看護学部図書室

© 2018 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

自己紹介

氏名：村上千晶

所属：東邦大学医学メディアセンター看護学部図書室

医学図書館（本館）に7年勤務後、
昨年4月から看護学部図書室で勤務しています。

亀井さんと同じく、「文献検索ヘルプデスク」の
担当として6年間、利用者の検索支援を行ってきました。

看護学部図書室では本館より利用者との距離が近く、
日々さまざまなご相談を受けています。

よろしくお願いいたします。

目次

- #1 重要項目の復習
- #2 事前課題の解説
- #3 本学での対応例の紹介と解説
- #4 演習
- #5 まとめ
- #6 質疑応答

#1 重要項目の復習



© 2020 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

#1 重要項目の復習

【復習】医学英語の調べ方

キーワードを調べる

- オンライン英語辞書の活用
例：Web LSD（ライフサイエンス辞書）
- 医中誌のシソーラスブラウザを活用する

ヒットした論文情報を翻訳する

- Google Chromeの翻訳機能を活用すると便利



#1 重要項目の復習

【復習】 Web LSD

- LSD=Life Science Dictionary
- 1993年から制作・改訂が続けられている医学・生命科学用語の電子辞書。



URL: <https://lsd-project.jp/cgi-bin/lsdproj/ejlookup04.pl>

#1 重要項目の復習

【復習】 医中誌のシソーラスブラウザ

- シソーラス用語に対応するMeSHがある場合に表示される。

クリックでPubMed検索もできる

7

#1 重要項目の復習

【復習】 PubMedの検索テクニック

- 熟語検索**
 - ダブルクォーテーションで囲む
 - 例：“live vaccine”
- 前方一致検索**
 - 語尾に*をつける（アスタリスクの前は4文字以上）
 - 例：child* → child, childrenなど
- 参考：近接演算（最近追加された機能）**
 - 「ある検索キーワードの近くに他の検索キーワードが存在する」という条件で検索ができる
 - 例：“hip pain”[Title/Abstract:~2]
 - タイトルか抄録に“hip pain” “hip-related pain” “pain around the hip”など
 - ※ Title, Title/Abstract, Affiliationのみ

上記3つの検索では自動マッピングは無効になる。

8

#1 重要項目の復習

【復習】 PubMedの検索タグ

検索対象項目を指定するタグ。
PubMedでは「検索用語」[検索タグ]で記載する。

検索対象項目	検索タグ	記載例
すべて (All Fields)	all	“diabetes mellitus”[all]
タイトルのみ (Title)	ti	“diabetes mellitus”[ti]
タイトルと抄録 (Title/Abstract)	tiab	“diabetes mellitus”[tiab]
タイトルと抄録, MeSH Term等* (Text Words)	tw	“diabetes mellitus”[tw]
MeSH Term	mh	“diabetes mellitus”[mh]
主要MeSH Term (MeSH Major Topic)	majr	“diabetes mellitus”[majr]

*タイトル, 抄録, MeSH Term, MeSH Subheading, Article Type, 化学物質名, 文献の主題としての個人名, 団体著者名, 二次資料データベース

9

#1 重要項目の復習

【復習】 MeSH Database

- MeSH Termを検索し、同義語や上位語・下位語、導入年などを確認できるデータベース。
- MeSH Termを使った検索にも活用できる。
 - Subheadingの使用, MeSH Major Topic限定, 下位語を含めない検索指定ができる。

10

#1 重要項目の復習

【復習】 MeSH Browser

- MeSH Databaseより詳細な検索が可能。
- 並列関係にあるMeSH用語も一覧できる。
- MeSH Database内のリンクからもアクセス可能。

URL: <https://meshb.nlm.nih.gov/>

11

#2 事前課題の解説

© 2020 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

12

#2 事前課題の解説

事前課題の解説と解答例

医学部の学生から、「授業で新型コロナウイルスについて調べている。小児、特に小学生(6~12歳)に対する、新型コロナウイルスワクチンの予防効果について書かれている論文が調べたい。調べているが、全然見つからない。」という問い合わせがあった。

ポイントは3つ

- ・ 「小学生」をどのように検索するか
- ・ 「新型コロナウイルス」の検索について
- ・ 「予防」のMeSH Subheadingの使い方

13

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(1.検索準備)

(1)検索課題のPICO化

P	小児 (6~12歳の小学生)	child
I	新型コロナウイルスワクチン接種	COVID 19 vaccines
C		
O	新型コロナウイルス感染症予防	COVID 19, prevention

14

#2 事前課題の解説

COVID 19の自動マッピング

"covid 19"[All Fields] OR "covid19"[All Fields] OR "covid 19"[MeSH Terms] OR "covid 19 vaccines"[All Fields] OR "covid 19 vaccines"[MeSH Terms] OR "covid 19 serotherapy"[All Fields] OR "covid 19 serotherapy"[MeSH Terms] OR "covid 19 nucleic acid testing"[All Fields] OR "covid 19 nucleic acid testing"[MeSH Terms] OR "covid 19 serological testing"[All Fields] OR "covid 19 serological testing"[MeSH Terms] OR "covid 19 testing"[All Fields] OR "covid 19 testing"[MeSH Terms] OR "sarscov2"[All Fields] OR "sarscov 2"[All Fields] OR "sars cov2"[All Fields] OR "sars cov 2"[MeSH Terms] OR "severe acute respiratory syndrome coronavirus 2"[All Fields] OR "2019 ncov"[All Fields] OR ("coronavirus"[MeSH Terms] OR "coronavirus"[All Fields] OR "cov"[All Fields] OR "ncov"[All Fields]) AND 2019/11/01:3000/12/31[Date - Publication]

15

#2 事前課題の解説

COVID 19の自動マッピング

"covid 19"[All Fields] OR "covid19"[All Fields] OR "covid 19"[MeSH Terms] OR "covid 19 vaccines"[All Fields] OR "covid 19 vaccines"[MeSH Terms] OR "covid 19 serotherapy"[All Fields] OR "covid 19 serotherapy"[MeSH Terms] OR "covid 19 nucleic acid testing"[All Fields] OR "covid 19 nucleic acid testing"[MeSH Terms] OR "covid 19 serological testing"[All Fields] OR "covid 19 serological testing"[MeSH Terms] OR "covid 19 testing"[All Fields] OR "covid 19 testing"[MeSH Terms] OR "sarscov2"[All Fields] OR "sarscov 2"[All Fields] OR "sars cov2"[All Fields] OR "sars cov 2"[MeSH Terms] OR "severe acute respiratory syndrome coronavirus 2"[All Fields] OR "2019 ncov"[All Fields] OR ("coronavirus"[MeSH Terms] OR "coronavirus"[All Fields] OR "cov"[All Fields] OR "ncov"[All Fields]) AND 2019/11/01:3000/12/31[Date - Publication]

ワクチンや血清療法など関連のMeSH Term等も検索されてしまっている

16

#2 事前課題の解説

Age Filterの検索式

Filter名	検索式
Child: birth-18 years	(infant[mh] OR child[mh] OR adolescent[mh])
Newborn: birth-1 month	infant, newborn[mh]
Infant: birth-23 months	infant[mh]
Infant: 1-23 months	infant[mh:noexp]
Preschool Child: 2-5 years	child, preschool[mh]
Child: 6-12 years	child[mh:noexp]
Adolescent: 13-18 years	adolescent[mh]
Adult: 19+ years	adult[mh]
Young Adult: 19-24 years	"young adult"[mh]
Adult: 19-44 years	adult[mh:noexp]
Middle Aged + Aged: 45+ years	(middle aged[mh] OR aged[mh])
Middle Aged: 45-64 years	middle aged[mh]
Aged: 65+ years	aged[mh]
80 and over: 80+ years	aged, 80 and over[mh]

child[mh]の下位語 "Child, Preschool"を含めない

出典: PubMed User Guide
https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/help/

17

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(2.検索式とフィードバック)

(1)最終検索式の例

"covid 19 vaccines"[MeSH Terms] AND "covid 19/prevention and control"[MeSH Terms] AND child[Filter]

(2)ヒット件数: 1,328件 (2024/10/29)

18

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(2.検索式とフィードバック)

ヒット件数が多いので…研究デザインで絞り込みをすると

(1)最終検索式の例

"covid 19 vaccines"[MeSH Terms] AND "covid 19/prevention and control"[MeSH Terms] AND child[Filter] AND (meta-analysis[Filter] OR randomizedcontrolledtrial[Filter] OR systematicreview[Filter])

一般的にエビデンスレベルが高いとされるメタアナリシス、システマティックレビュー、RCTに絞り込みをした。

(2)ヒット件数 : 76件 (2024/10/29)

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(2.検索式とフィードバック)

(3)フィードバックや提案の例

- MeSH TermとSubheadingを使うことでテーマに見合った検索が可能 ←基本は医中誌と同じ
- 自動マッピングは便利だが、不要な検索が行われていたり、逆に必要な語尾変化まで検索されていないこともあるので注意 (このあと事例も紹介します)

#2 事前課題の解説

事前課題回答例(2.検索式とフィードバック)

*実際の事例では…

- 学生に急用ができてしまい、ゆっくり解説することはできなかった。自動マッピング後の検索式なども確認できていない。
- 学生が「全然見つからない」というのでどのようなキーワードで検索しているか尋ねたところ「コロナワクチン (corona vaccine)」との回答。このキーワードでは医中誌、PubMedともに網羅的な検索ができないことを説明し、シソーラス、MeSHについて解説。

説明したことを参考にやってみて、わからないことがあったら、また聞きにきてくださいね!



#2 本学での対応例の紹介と解説



© 2020 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

ヘルプデスクで実際に対応した事例2例をご紹介します

#2 本学での対応例の紹介と解説

事例①

- 看護師「患者へのHPN (在宅静脈栄養) の指導について研究している論文を調べたい。」

*在宅静脈栄養とは…

消化器管の疾病などが理由で口から食べ物を取ることができない患者が、高カロリー輸液剤を静脈から点滴する栄養法のこと。入院中に訓練をして在宅でも必要な栄養を補給できるようになることで、就業などの社会復帰が可能となる。



#2 本学での対応例の紹介と解説

医中誌のシソーラス用語↔MeSH Term

- HPN (在宅静脈栄養)
 - シソーラス用語 : 在宅静脈栄養
 - ↳ MeSH Term : Parenteral Nutrition, Home
- 指導
 - シソーラス用語 : 患者教育
 - ↳ MeSH Term : Patient Education as Topic
 - ↓下位語
 - シソーラス用語 : 栄養指導
 - ↳ MeSH Term : ???

対応するMeSH Termがないこともある

#2 本学での対応例の紹介と解説

自動マッピングの落とし穴

- PubMedでHPNを検索すると…
 “hpn hosp purch news”[Journal] OR “hpn”[All Fields]
 →雑誌「Hospital purchasing news : HPN」まで自動的に検索されてしまう
- patient educationを検索すると…
 “patient education handout”[Publication Type] OR
 “patient education as topic”[MeSH Terms] OR
 “patient education”[All Fields]
 →患者用のハンドアウトまで自動的に検索されてしまう

#2 本学での対応例の紹介と解説

不要な自動マッピングをなくすには

- 検索式を編集して不要な部分を削除する
 ※ダブルクォーテーション (“”) で囲まれた検索タームは All Fieldsでも自動マッピングされない
- 検索タグをTitle/AbstractやText Words等にする
 “patient education handout”[Publication Type] OR
 “patient education as topic”[MeSH Terms] OR
 “patient education”[All Fields]
 ↓
 “patient education as topic”[MeSH Terms] OR
 “patient education”[Title/Abstract]

タグは省略形[tiab]でも可

#2 本学での対応例の紹介と解説

検索式例

("parenteral nutrition, home"[MeSH Terms] OR "home parenteral nutrition"[Title/Abstract] OR "home parenteral feeding"[Title/Abstract] OR ("home"[Title/Abstract] AND "parenteral"[Title/Abstract] AND ("nutrition"[Title/Abstract] OR "feeding"[Title/Abstract])) OR "HPN"[Title/Abstract]) AND ("patient education as topic"[MeSH Terms] OR "patient education"[Title/Abstract] OR ("patient"[Title/Abstract] AND "education"[Title/Abstract]))

ヒット数 : 140件 (2024/10/29)

#2 本学での対応例の紹介と解説

事例②

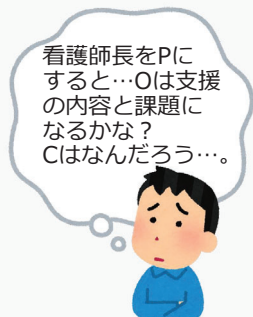
- 看護学部大学院生（修士）
 「看護管理者（看護師長）が中堅看護師に対し、どのような教育支援を行っているかを研究したい。」
- 所属研究室の教員から、
 「既に自分でPICOを作り、キーワードを考えて検索しているので、フィードバックしてあげてほしい。」と指導をお願いされた。



#2 本学での対応例の紹介と解説

PICOの見直し

P	看護師長職
I	中堅看護師に対して行っている教育支援
C	(なし)
O	教育支援の内容と課題



#2 本学での対応例の紹介と解説

PICOの見直し

P	看護師長職	P	中堅看護師
I	中堅看護師に対して行っている教育支援	I	看護師長職による教育支援で○○を行う
C	(なし)	C	しない場合 or 他の支援方法
O	教育支援の内容と課題	O	××に効果はあるか、改善するか etc...



#2 本学での対応例の紹介と解説

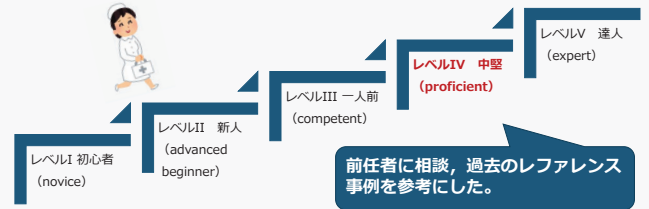
PICOの見直し

P	看護師長職	P	中堅看護師
I	中堅看護師に対して行っている教育支援	I	看護師長職による教育支援で○○を行う
C	(なし)	C	しない場合 or 他の支援方法
O	教育支援の内容と課題	O	××に効果はあるか、改善するか etc...

#2 本学での対応例の紹介と解説

「中堅看護師」を英語にすると…?

- 医中誌にはシソーラス用語はあるが、対応するMeSHはない。
- 海外、特にアメリカでは経験年数より「質」が重視される。
- ベナー（アメリカ）の看護理論のクリニカルラダー



#2 本学での対応例の紹介と解説

「教育支援」を英語にすると…?

Googleで「教育支援」を翻訳すると、educational support!



- しかし“educational support”をPubMedで検索してみると…
 - ヒット数が少ない
 - 障害児の教育の支援などの内容が多い
- 海外では想定していた意味で使われない語句だった
- そもそも教育支援とは？精神的な支援も教育支援に入る？

#2 本学での対応例の紹介と解説

検索ターム例

院生にはこれらの検索タームを提示し、参考に検索結果を見せた。

中堅看護師	<ul style="list-style-type: none"> • (middle OR “mid level” OR “mid career” OR proficient) AND (nurse OR nurs*) • mentor
看護師長職	<ul style="list-style-type: none"> • (nurse manager) OR (nurse managers) • (head nurse) OR (head nurs*) • chief nurs*
教育支援	<ul style="list-style-type: none"> • “Inservice Training”[mh] • “Education, Nursing, Continuing”[mh] • “Capacity Building”[mh] • (“Social Support”[mh])

#2 本学での対応例の紹介と解説

PICOの見直し&検索結果のフィードバック

教育支援の内容やOutcomeを具体的に考えてから、また検索してみます!

I	中堅看護師に対して行っている教育支援	P	中堅看護師
C	(なし)	I	看護師長職による教育支援で○○を行う
O	教育支援の内容と課題	C	しない場合 or 他の支援方法
		O	××に効果はあるか、改善するか etc...

#2 本学での対応例の紹介と解説

PubMed検索の注意点

- 医中誌のシソーラス用語に対応するMeSH Termがない場合もある。
- 自動マッピングで思わぬ検索がされていることがある。
- 日本と海外では言葉の意味や言い回しが違ったり、概念自体が存在しないこともある。

- • MeSH Database(Browser)でMeSH Termの詳細を調べる。
- 必ず“Details”を参照し、実際の検索式を確認する。
 - 検索テーマについて、できれば下調べをする。過去のレファレンス事例も参考にする。(日本と海外の違いにも注意！)

それでは実践



© 2020 Toho Univ. MC & SUNMEDIA

#4 演習

演習課題

「プロバイオティクスの糖尿病の発症予防効果についてレポートを書きます。プロバイオティクスとは例えば乳酸菌ですが、血糖値の低下や肥満が抑止できるらしいです。糖尿病の発症リスク低減も期待されています。論文の検索の仕方を教えてくださいませんか。英語が良いです」

この演習課題についてPubMedで検索を行ってください。時間は8分です。

かつちりとした検索式を構築することを目的とせず、検索過程で気づいたことや利用者に伝えたいことを記録してください。

#4 演習

聞き取りに基づくPICO

	メイン検索用語	サブ検索用語 (類語、関連語)
P		
I	プロバイオティクス	乳酸菌
C		
O	糖尿病の予防	血糖値の改善, 肥満の改善

AND 検索 (縦向き)

OR 検索 (横向き)

聞き取りに基づくPICO

	メイン検索用語	サブ検索用語 (類語、関連語)
P		
I	probiotics	Lactobacillales, Lactobacillaceae
C		
O	diabetes mellitus prevention	blood glucose lowering, weight loss

AND 検索 (縦向き)

OR 検索 (横向き)

#4 演習

ポイント1 プロバイオティクスと乳酸菌

- ・ 医中誌の統制語「乳酸菌」→医中誌フリーキーワードこれに対応するMeSH Termはない
- ・ “lactic acid bacteria”はMeSH Term “lactobacillales”の同義語 (Entry Term)

Search: **lactic acid bacteria**

"lactobacillales"[MeSH Terms] OR "lactobacillales"[All Fields] OR ("lactic"[All Fields] AND "acid"[All Fields] AND "bacteria"[All Fields]) OR "lactic acid bacteria"[All Fields]

#4 演習

ポイント1 プロバイオティクスと乳酸菌

- ・ LactobacillalesのMeSH Term導入年は**2010年**だが、下位語のLactobacillaceaeは1975年、更に下位語のLactobacillusには導入年の記載はないため、下位語も含めて検索すれば2010年以前の文献も検索可能。

Lactobacillales
An order of gram-positive bacteria in the class Bacilli, that have the ability to ferment sugars to lactic acid. They are widespread in nature and commonly used to produce FERMENTED FOODS.
Year introduced: 2010

↓ 下位語

Lactobacillaceae
A family of gram-positive bacteria found regularly in the mouth and intestinal tract of man and other animals, in food and dairy products, and in fermenting vegetable juices. A few species are highly pathogenic.
Year introduced: 1975

↓ 下位語

Lactobacillus
A genus of gram-positive, microaerophilic, rod-shaped bacteria occurring widely in nature. Its species are also part of the many normal flora of the mouth, intestinal tract, and vagina of many mammals, including humans. Lactobacillus species are homofermentative and ferment a broad spectrum of carbohydrates often host-adapted but do not ferment PENTOSEs. Most members were previously assigned to the Lactobacillus delbrueckii group. Pathogenicity from this genus is rare.

※ Lactobacillusは乳酸菌飲料や発酵食品に含まれる代表的な乳酸菌群

#4 演習

ポイント2 糖尿病の予防

- “prevention”と検索すると自動マッピングで “prevention and control”[MeSH Subheading] も検索される
- 糖尿病の予防の検索にはSubheadingを用いる。

```
Search: prevention 3,317,771


```

43

#4 演習

ポイント3 検索タグの活用, 絞り込み

- PubMedは収録件数が多いので、ヒット数が膨大になることが多い。
- 状況に応じて、MeSH Termのみで検索する、MeSH Major Topic (majr) , Title (ti) , Title/Abstract (tiab) , Text Words (tw) 等の検索タグを活用する。
- また、利用者と相談しながら発行年や研究デザインで絞り込む手もある。

44

#4 演習

検索過程におけるPICOの補記

	メイン検索用語	サブ検索用語 (類語、関連語)
AND 検索	P	
	I probiotics	prebiotics, synbiotics, Lactobacillaceae, Bifidobacterium, intestinal bacteria, Gastrointestinal Microbiome, Ackermansia
	C	
	O diabetes mellitus prevention	blood glucose lowering, weight loss, glucose intolerance, carbohydrate metabolism, obesity, insulin resistance

OR検索

45

#4 演習

講師の検索式の例1 (2024/10/29)

```
Search: (probiotics) AND (diabetes mellitus) 1,241
("probiotic s"[All Fields] OR "probiotal"[All Fields] OR "probiotics"[MeSH Terms] OR "probiotics"[All Fields] OR "probiotic"[All Fields]) AND ("diabetes mellitus"[MeSH Terms] OR "diabetes"[All Fields] AND "mellitus"[All Fields]) OR "diabetes mellitus"[All Fields]

Translations
probiotics: "probiotic s"[All Fields] OR "probiotal"[All Fields] OR "probiotics"[MeSH Terms] OR "probiotics"[All Fields] OR "probiotic"[All Fields]
diabetes mellitus: "diabetes mellitus"[MeSH Terms] OR ("diabetes"[All Fields] AND "mellitus"[All Fields]) OR "diabetes mellitus"[All Fields]
```

All Fieldsで掛け合わせて検索をしただけでは、1,241件とヒット数が非常に多い。ただし、検索結果のソート順をデフォルトの“Best Match”にしていれば、役立ちそうな文献が上の方に表示されるのでそれで事が足りる可能性もある。利用者にざっと見ていただき、気になる文献があれば詳細を確認、検索タームを増やすなど検索戦略を考える。

46

#4 演習

講師の検索式の例2 (2024/10/29)

```
Search: "probiotics"[majr] AND "diabetes mellitus"[mh] 541
"probiotics"[MeSH Major Topic] AND "diabetes mellitus"[MeSH Terms]
```

probioticsをMajor MeSH Topic、diabetes mellitusをMeSH Termに検索タグを設定し、ノイズを軽減。プロバイオティクスをメインに書かれている文献に絞り込みをした。

47

#4 演習

講師の検索式の例3 (2024/10/29)

```
Search: ((((probiotics[mh]) OR (synbiotics[mh])) OR (lactobacillales[mh])) OR (bifidobacterium[mh])) OR ("gastrointestinal microbiome"[mh])) AND ("Diabetes Mellitus/prevention and control"[MeSH]) 259
("probiotics"[MeSH Terms] OR "synbiotics"[MeSH Terms] OR "lactobacillales"[MeSH Terms] OR "bifidobacterium"[MeSH Terms] OR "gastrointestinal microbiome"[MeSH Terms]) AND "diabetes mellitus/prevention and control"[MeSH Terms]

Translations
probiotics[mh]: "probiotics"[MeSH Terms]
synbiotics[mh]: "synbiotics"[MeSH Terms]
lactobacillales[mh]: "lactobacillales"[MeSH Terms]
bifidobacterium[mh]: "bifidobacterium"[MeSH Terms]
```

シンバイオティクス、Lactobacillalesなどプロバイオティクスの関連語 (MeSH Terms) をORで繋ぎより網羅的な検索を目指すと同時に、糖尿病のMeSH TermをSubheading“prevention and control”と一緒に検索し、糖尿病の「予防」に絞った検索をしている。

48

#4 演習

講師の検索式の例3 (2024/10/29)

```
Search: (((((probiotics[mh]) OR (synbiotics[mh])) OR
(lactobacillales[mh])) OR (bifidobacterium[mh])) OR
("gastrointestinal microbiome" [mh])) AND ("Diabetes
Mellitus/prevention and control" [MeSh]) OR (blood glucose[mh]))
Filters: Meta-Analysis, Randomized Controlled Trial, Systematic Review
(("probiotics"[MeSH Terms] OR "synbiotics"[MeSH Terms] OR
"lactobacillales"[MeSH Terms] OR "bifidobacterium"[MeSH Terms] OR
"gastrointestinal microbiome"[MeSH Terms] AND ("diabetes
mellitus/prevention and control"[MeSH Terms] OR "blood glucose"[MeSH
Terms])) AND (meta-analysis[Filter] OR randomizedcontrolledtrial[Filter]
OR systematicreview[Filter])
```

292

```
Search: (((((probiotics[mh]) OR (synbiotics[mh])) OR
(lactobacillales[mh])) OR (bifidobacterium[mh])) OR
("gastrointestinal microbiome" [mh])) AND ("Diabetes
Mellitus/prevention and control" [MeSh]) OR (blood glucose[mh]))
```

1,320

アウトカムに血糖値を追加したところ、ヒット数は1,320件に。一般的にエビデンスレベルが高いとされるメタアナリシス、システムティックレビュー、RCTに絞り込みをした。

49

#4 演習

講師ならどう対応するか

- 聞き取り調査
 - 英語文献検索の経験はあるか
 - 医中誌等で日本語文献は検索済みか（見せてもらい、場合によってはまず日本語文献検索サポート）
- 検索とフィードバック
 - 英語論文の検索にはPubMedが適している。
 - 英語のキーワードを検討する（×Google翻訳ママ）
 - 履歴検索，論理演算
 - まずはprobioticsとdiabetes mellitusの2語で検索。
- まとめと提案
 - ざっと見て役立つような文献はあるか確認してもらう。
 - 検索式がどのように自動マッピングされているか，MeSHの詳細も一緒に確認。
 - 網羅的に検索したいか？何件程度に絞り込みたいか？

50

#4 演習

文献検索支援のまとめ

1. PubMedの主なユーザーは教職員や院生だが，卒論等で日本語文献が見つからず支援を求めてくる学部生も多く，医中誌の検索もつまずいていることが多々ある。
2. 教職員との信頼関係は，学生の利用にもつながる。
3. 思い込みは厳禁。日本語と英訳した単語が全く同じものを指しているとは限らない。日本にあるものが海外にあるとは限らない。（医中誌の方が適切な文献が見つかる場合も）
4. 過去のレファレンス事例はとても参考になる。（記録&共有！）
5. あくまで「支援」。検索式を提供したり，その場で解決することが必ずしもゴールではない。
6. 利用者支援が終わった後，自分で改めて検索してみると気づくことが多い。

51

文献検索演習中級2024 「PubMed」

ご清聴ありがとうございました

JMLA学術集会CEコース

講師：村上千晶

所属：東邦大学医学メディアセンター

第8回 JMLA 学術集会 運営担当

JMLA 学術集会ワーキンググループ

根本萌（北海道大学附属図書館）

廣瀬瑛子（北里大学図書館白金分館）

井上陽路（東京慈恵会医科大学学術情報センター）

教育・研究委員会 JMLA 学術集会担当

大屋玲奈（獨協医科大学埼玉医療センター）

JMLA 中央事務局

宇佐見由美

教育・研究委員会担当理事

加藤砂織（東京女子医科大学図書館）

第8回 JMLA 学術集会プログラム・抄録

2024年12月13日発行

All Rights Reserved

編集 特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

JMLA 学術集会ワーキンググループ

発行 特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10 和田ビル3階

TEL. 03-5577-4509
